

【参考資料 3】

**伴走型省エネ支援業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 3 月 27 日 14 時 20 分から 15 時 30 分まで
2	場 所	オンライン
3	出席委員	環境県民局環境担当部長 環境県民局環境政策課長 環境県民局環境保全課長 商工労働局イノベ推進 T ものづくり・新産業支援担当課長 商工労働局イノベ推進 T 環境エネルギー産業集積促進担当課長（GL 代理出席）
4	議 題	伴走型省エネ支援業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	環境県民局環境政策課
6	開催方法	オンライン
7	議事内容	1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。 2 審査対象者（提案書受理順、最優秀提案者：（◎）） A 社 ワイエムコンサルティング株式会社 B 社 株式会社電通西日本 広島支社 （◎） 3 審査結果 （1）審査対象者の評価値 別紙のとおり （2）各提案者に対する意見 ○ ワイエムコンサルティング株式会社 ・関係機関および金融機関とのネットワークを活用しており、周知や支援先の選定において一定の優位性が認められる。 ・地域密着型のアプローチが期待できるが、50 社を選定するための具体的な提案が不十分である。 ・提出された可視化の資料は分かりやすく具体的であり、企業カルテの作成や削減提案など、個別企業の実態に即した支援が期待できる。 ・事前ヒアリングを通じて企業の状況を把握し、適切なサポートが期待される。

		・融資も含めた全体としての計画策定を提案しており、連携先も多く、円滑な業務が期待できる。 ・経営者へのセミナーや支援実績が高く評価される。 ○ 株式会社電通西日本 広島支社 ・50社を選定するための手順が具体的であり、商社や金融機関等が有するリードを活用したアプローチは有効であると認められる。 ・AIソリューションを活用し、業態別の排出傾向を分析・可視化することで、迅速かつ効率的な対応が期待される。 ・AIを基盤としつつ、企業ごとのヒアリングや実情に沿った計画策定が可能である。 ・製造業向けだけでなく、幅広い業種への対応が可能な提案となっている。 ・AIソリューションを活用した施策評価が具体的で、企業の納得感を得られる提案となっている。 ・多様なソリューション事業者等との連携が予定されており、十分な実績と能力を有すると認められる。
--	--	---